

2015年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター所長 五味 慎太郎
保健管理センター副所長 稲垣 中

2016年11月8日に行われた選挙において、多くの識者の予想を覆して、共和党のドナルド・トランプ氏が45代目のアメリカ合衆国大統領に選出されました。いまのところ、トランプ次期大統領の政権運営の方針は全面的には明らかになっておりませんが、2010年に成立したオバマ・ケアについて、全面的な廃止はしないものの、何らかの見直しをする考えのようです。多くの先進国と異なって、米国には国民皆保険制度が存在せず、何の医療保険にも加入していない住民が約5000万人も存在します。これらの無保険者が医療的な問題によって破産の危機に陥ることが少なくないことはマイケル・ムーア監督の映画『シッコ』などにおいて描かれてきたところですが、オバマ・ケアが見直されても米国民は大丈夫なのでしょう。よその国の話ながら心配です。また、トランプ次期大統領は環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）についても反対で、就任次第、交渉から離脱する考えのようです。そもそも、TPPが全体としてわが国にとって有利なのか、不利なのかよくわからないのですが、混合診療の解禁や医薬品の承認審査プロセスの短縮化、医薬品の特許期間の延長など、TPPによってわが国の医療に甚大な影響がもたらされる可能性が否定できません。トランプ大統領の就任後にTPPはどのような運命をたどるのでしょうか。仮に何らかの形でTPPが発効した場合、わが国の医療はどうなるのでしょうか。興味深いところです。

さて、学生の健康管理面では、保健管理センターとして海外留学を考慮している学生を対象とした医療問題に関するセミナーを2015年末から試行的に2回ほど行ってきました。昨年度開設された地球社会共生学部では在学中に半年間の海外留学が課されており、他の学部でも夏休みや春休みにボランティア活動などで海外に長期滞在する学生も少なくありません。安全性の観点から、そのような学生には感染症をはじめとする海外で起こりうる様々な問題について正しい知識を身につけてもらう目的でこのセミナーを開始しました。今後とも同様のセミナーを定期的開催する予定です。また、インターネット依存に陥っている若者が増えている社会的状況を踏まえ、学生や保護者の方を対象としたインターネット依存に関するセミナーも今年度は開催しました。残念なことに、授業の兼ね合いから設定可能な開催時間が限られており、広報の手段がやや弱いことから、いずれのセミナーも参加者が今一つ伸びないのが目下の悩みの種です。今後とも関係部署と協力し少しでも学生や保護者の方のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。

教職員の健康管理については、改正された労働安全衛生法により昨年導入されたストレスチェックが本学でも11月に実施されたところです。ストレスチェック制度の目的は労働者のメンタルヘルス不調の一次予防を目的として、労働者本人のストレスへの気づきを促し、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげることにあります。海外にもこのような制度が施行されている国はなく、どの企業・団体も未だ手さぐりの状態にあるのが実情で、一部に批判の声が上がっているようです。ただし、ストレスチェックの施行には少なからぬ経費がかかっておりますので、何とか本学の教職員のメンタルヘルスの改善につながるよう運営してゆきたいと考えております。

この様に保健管理センターとして新たな試みを模索しつつ、新たな制度にも適切に対応しより良い健康管理を目指して参りますので御支援いただければ幸いです。

目次

2015 年度業務報告.....	4
1. 年間業務内容.....	4
2. 学生定期健康診断.....	6
①学生定期健康診断受診状況（全キャンパス）.....	6
②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	7
③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	9
④学生の身体状況（肥満とやせ）.....	10
⑤学生集団健康教育.....	11
⑥感染症罹患報告者数.....	12
⑦学生の休学・退学者数.....	12
3. 教職員定期健康診断.....	13
①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	13
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	14
③教職員の身体状況（肥満とやせ）.....	14
④保健指導と集団健康教育.....	16
⑤教職員の休職・復職者数.....	16
⑥長時間労働者への産業医による面接.....	17
4. その他の法定健康診断.....	18
①特殊健康診断（相模原キャンパス）.....	18
②雇入時の健康診断.....	19
③特定業務従事者健康診断.....	20
5. 健康診断証明書発行業務.....	21
①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	21
②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	21
6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	22
①青山キャンパス（学生・教職員別利用者数）.....	22
②相模原キャンパス（学生・教職員別利用者数）.....	23
7. 各キャンパス業務内容利用状況.....	24
①青山キャンパス.....	24
②相模原キャンパス.....	26
8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	28

9. 各種情報処理.....	29
①学生健康診断処理関係	29
②教職員健康診断処理関係.....	29

月	業務	対象	備考
10月	学生対象健康セミナー(10/7) 推薦入試救護待機 (10/10) 専門職大学院入試救護待機 (10/10・11) 相模原祭救護待機 (10/10・11) 教職員対象健康セミナー (10/22) 青山祭救護待機(10/30・31・11/1)	学生 受験生 受験生 学生・来校者 教職員 学生・来校者	青山 青山 青山 相模原 青山 青山
11月	教職員健康診断二次検診 教職員疾病管理者の医師面接 教職員保健指導(11月～1月) 相模原キャンパス特別入試・推薦入試救護待機 (11/7・21) 青山キャンパス特別入試・推薦入試救護待機 (11/7・23) 学生対象健康セミナー(11/18) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 学生疾病管理者・有疾患者面接・検査 (11/24～12/4) 学生疾病管理者・有疾患者面接・検査 (11/25～12/19) 八大学担当者会議(11/27) 専門職大学院入試救護待機(11/28) 編入学・転学部・転学科試験救護待機(11/28)	教職員 教職員 教職員 受験生 受験生 学生 教職員 学生 学生 保健センタースタッフ 受験生 受験生	青山・相模原 青山・相模原 青山 相模原 青山 青山 相模原 相模原 青山 青山 青山 青山
12月	学生対象健康セミナー(12/2) 海外留学医療特別セミナー (12/10) 専門職大学院入試救護待機 (12/12) 女性と男性のからだと健康セミナー (12/16)	学生 学生・教職員 受験生 学生・教職員	青山 青山・相模原中継 青山 青山
1月	教職員対象健康セミナー(1/12・19) 教職員疾患管理者検診(1/12～15) 大学入試センター試験救護待機 (1/16・17) 専門職大学院入試救護待機(1/16・30) 学生対象健康セミナー (1/19)	教職員 教職員 受験生 受験生 学生	青山 青山・相模原 青山 青山 青山
2月	一般入試救護待機(2/7・10・11・13・14・15・18・19・21) 専門職大学院入試救護待機 (2/13・20) 大学院入試救護待機 (2/13)	受験生 受験生 受験生	青山 青山 相模原
3月	教職員疾病管理者検診(3/1～4) 特定業務従事者健康診断(3/4) スポーツネットワーク「中学生セミナー」救護待機(3/5) 科目等履修生選考試験救護待機(3/16) 学位授与式〈学部・大学院〉救護待機(3/26) 有疾患学生管理検診の通知発送 卒業生(有疾患者)進路調査 医薬品在庫調査・常設救急箱点検	教職員 教職員 中学生 受験生 卒業生・父母 学生 学生 保健管理センター	相模原 相模原 相模原 青山 青山 青山・相模原 青山・相模原 青山

保健管理センター通年業務

- * 救急処置
- * 健康相談
- * 精神衛生相談
- * 学生健康診断、教職員健康診断
- * 保健指導
- * 集団健康教育
- * 各種健康診断証明書発行
- * 各種業務統計(労働基準監督署・文部科学省・保健所・年報等)
- * 各種届け出及び申請書の作成(医療廃棄物処理・結核予防法)
- * 教職員の休職、復職支援、長時間労働等に関する産業保健業務
- * 診療及び保険診療報酬請求事務

2. 学生定期健康診断

①学生定期健康診断受診状況(全キャンパス)

(2015年4月24日現在)

学部		学年・性別	学 年 別					性 別		合 計
			一年生	二年生	三年生	四年生	大学院 専門職大学院	男	女	
昼	文学部	学生数	826	800	737	923	—	848	2438	3286
		受診者数	800	725	640	810	—	733	2242	2975
	教育人間科 学部	学生数	332	362	305	350	—	400	949	1349
		受診者数	330	334	290	331	—	371	914	1285
	経済学部	学生数	555	634	484	647	—	1520	800	2320
		受診者数	551	554	435	525	—	1333	732	2065
	法学部	学生数	503	539	510	611	—	1241	922	2163
		受診者数	490	459	451	535	—	1083	852	1935
	経営学部	学生数	537	545	527	696	—	1320	985	2305
		受診者数	529	504	452	578	—	1142	921	2063
	国際政治経済 学部	学生数	296	319	315	378	—	603	705	1308
		受診者数	291	288	259	310	—	512	636	1148
総合文化政策 学部	学生数	271	270	286	353	—	434	746	1180	
	受診者数	262	252	243	307	—	372	692	1064	
理工学部	学生数	632	644	751	679	—	2212	494	2706	
	受診者数	630	623	666	642	—	2079	482	2561	
社会情報学部	学生数	226	213	246	247	—	576	356	932	
	受診者数	225	202	218	228	—	532	341	873	
地球社会共生学部	学生数	225	—	—	—	—	71	154	225	
	受診者数	225	—	—	—	—	71	154	225	
昼間部合計	学生数	4403	4326	4161	4884	—	9225	8549	17774	
	受診者数	4333	3941	3654	4266	—	8228	7966	16194	
	受診率	98.4	91.1	87.8	87.3	—	89.2	93.2	91.1	
第 二 部	文学部	学生数	—	0	0	14	—	9	5	14
		受診者数	—	0	0	5	—	3	2	5
	経済学部	学生数	—	0	0	1	—	1	0	1
		受診者数	—	0	0	0	—	0	0	0
	経営学部	学生数	—	0	0	2	—	2	0	2
		受診者数	—	0	0	1	—	1	0	1
第二部合計	学生数	—	0	0	17	—	12	5	17	
	受診者数	—	0	0	6	—	4	2	6	
	受診率	—	—	—	35.3	—	33.3	40.0	35.3	
大学院・専門職大学院	学生数	—	—	—	—	1240	825	415	1240	
	受診者数	—	—	—	—	811	545	266	811	
	受診率	—	—	—	—	65.4	66.1	64.1	65.4	
総合計	学生数	4403	4326	4161	4901	1240	10062	8969	19031	
	受診者数	4333	3941	3654	4272	811	8777	8234	17011	
	受診率	98.4	91.1	87.8	87.2	65.4	87.2	91.8	89.4	

*上記は科目等履修生—学生数132名、受診者数16名、受診率 12.1 %を除く

②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

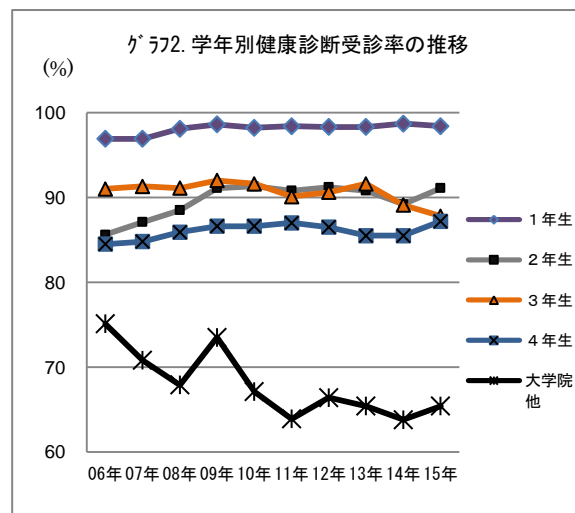
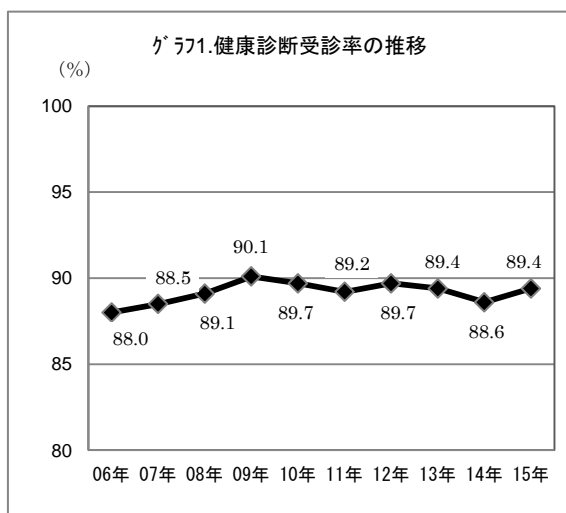
(2015年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14807	5801	7235	13036	84.3	91.3	88.0
問診	14807	5801	7235	13036	84.3	91.3	88.0
レントゲン	14807	5800	7231	13031	84.3	91.3	88.0
視力	11487	4384	5379	9763	80.7	88.8	85.0
内科診察	8238	3326	3971	7297	84.3	92.5	88.6
尿検査	8238	2865	3530	6395	72.6	82.2	77.6
血圧測定	3469	1351	1782	3133	86.1	93.8	90.3

相模原キャンパス

(2015年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	4224	2985	1014	3999	93.8	97.2	94.7
問診	4224	2985	1014	3999	93.8	97.2	94.7
レントゲン	4224	2985	1014	3999	93.8	97.2	94.7
視力	3141	2298	621	2919	92.2	95.5	92.9
内科診察	2372	1659	633	2292	95.9	98.6	96.6
尿検査	2372	1659	633	2292	95.9	98.6	96.6
血圧測定	857	644	181	825	95.8	97.8	96.3

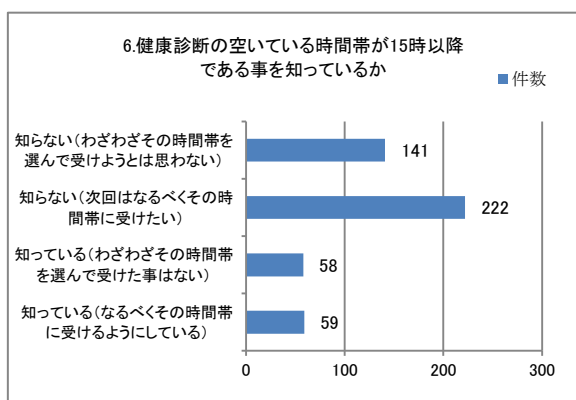
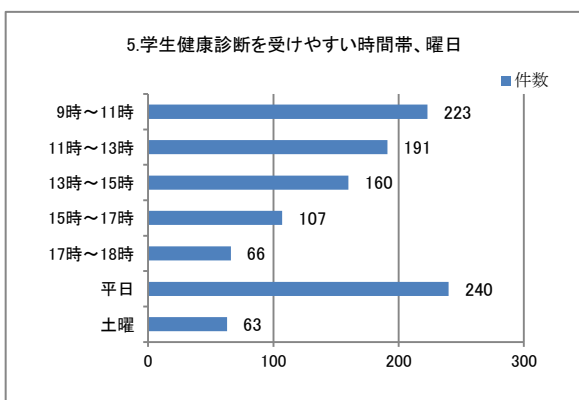
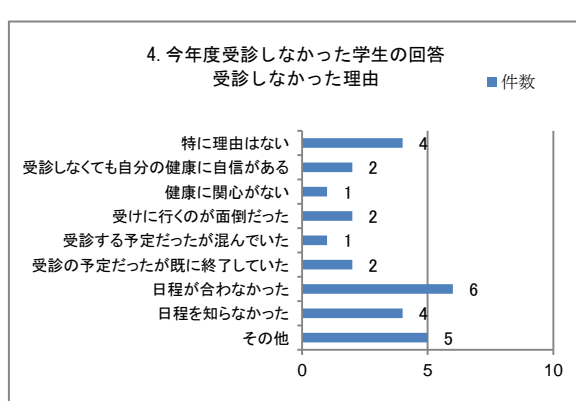
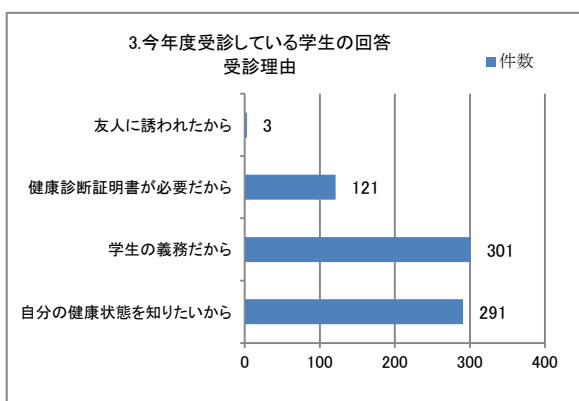
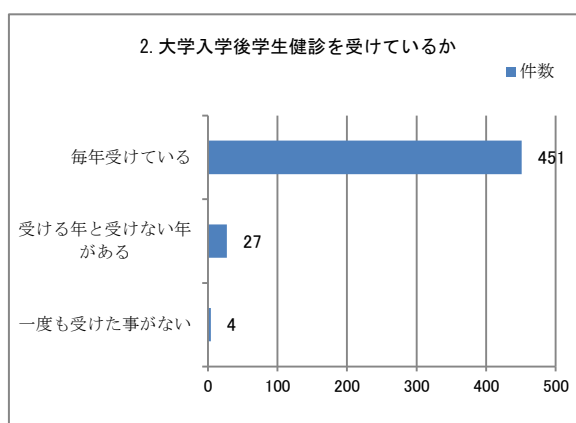
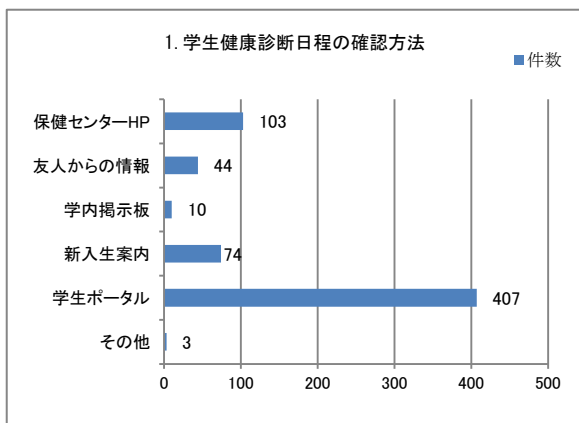


青山キャンパスでは学事暦の関係上、2014年度から学生健康診断日程が6日間から5日間に短縮され、その影響もあり、2014年度は受診率がやや低下した。受診率減少を受けて2015年度は混雑緩和のために実施している学部指定を緩和し、5日間の日程中、全学生が受診可能な時間帯を後半の2日間に設けたが、受診率は2014年度の87.6%から87.9%に若干増加しただけであった。両キャンパス合わせての受診率では、2年生、4年生、大学院生、専門職大学院生の受診率はアップし、1年生及び3年生の受診率は低下している。しかし全体的に受診率はここ数年ほぼ横ばいの状態であり、約10%を占める未受診者を受診させるための対応が課題となっている。

＝学生健康診断アンケート＝

健康診断の受診率の上昇が認められないため、学生のニーズを把握して学生健康診断の受診率の向上を再検討する目的で、学生ポータルを利用し、学生健康診断に関するwebアンケート調査を実施した。Webアンケートの結果は以下の通りである。

(対象者：全学生 19260名 回答数：486名 回答率：2.5% Webアンケート実施時期：2015.9.24～2015.10.24)



学生健康診断に関する学生の要望としては、健康診断の日数の増加、健康診断をオリエンテーションの時期と重ねない、健康診断会場の改善、会場内のプライバシーの保持、随時webで混雑状況を配信、健康診断結果のweb上での確認等が提示された。

アンケートの回答率は低かったが、このwebアンケートの結果をうけ、2016年度は健康診断日程の表示法に多少の変更を加えると共に、健康診断会場内のレイアウトを見直し、会場内のプライバシー空間の向上や、混雑の緩和を図る事とした。また、学生ポータル上で健康診断結果を確認できるシステム開発を事務システム室に依頼し、2017年度の実用を目指す事とした。その他、要望の多かった健康診断の日程に関しては、学事暦や物理的、予算的な問題で現行からの変更は難しく、今後の課題である。

③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過			
			医師判定にて問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
レントゲン 間接撮影	159	0.9	所見あるも問題なし(137) 要直接撮影再検査(12) 要病院受診 ⇒再撮影・医師の診察 にて異常なし(1)	後縦隔腫瘍(1) ⇒定期通院、経過観察中 過剰分葉 (1) 脊椎彎曲 (1) 炎症性変化 (1) 左中野結節影 (1)	右側下肺野腫瘍影 (1) ⇒病院受診、問題なし 経過観察指示 肺結核治療中 (1)	2
レントゲン 直接撮影	15	60.0	異常なし(6)	腫瘍影(1) 心膜嚢胞疑い、(1) 非結核性抗酸菌感染症疑い、(1) 大動脈弓偏位(1) 縦隔腫瘍(1) 心肥大(3) 空洞影(1)		
循環器（心臓）	50	0.5	異常なし (12)	発作性上室性頻拍 (1) マルファン症候群 (1) 肺動脈弁狭窄症 (2) 大血管転位 (1) 心室期外収縮 (12) WPW 症候群 (2) 右室伝導遅延 (1) 洞性不整脈 (3) 心室中隔欠損症 (3) 心雑音 (3)	左室肥大 (1) 心室中隔欠損症 (1) 洞性不整脈 (2)	5
内科 (貧血・他)	87	0.9	※甲状腺 異常なし(20) 病院受診にて異常なし (4) ※リンパ 異常なし(24) ※貧血 異常なし(6)	※甲状腺 経過観察(7) 橋本病(1) ※貧血 保健指導にて経過観察(2) ※運動 脳生麻痺(1)	※甲状腺 結節性甲状腺腫(1) バセドウ病(3) 甲状腺機能亢進症(1) 橋本病(1) ※貧血 鉄欠乏性貧血(6)	10
腎・泌尿器	341	3.9	異常なし (256)	尿潜血 (16) 潜血・蛋白尿 (2) 尿蛋白 (20) ファロー四徴症術後 (1) IgA 腎症 (2) 菲薄基底膜病 (1) 腎性糖尿 (2) (内1名は未来室にて 症状不明) 急性糸球体腎炎 (1) ネフローゼ症候群 (1) 病院受診中 (7)	糖尿病 (2) 1型糖尿病 (2) 糸球体腎炎 (1) 病院受診未報告 (3) 血尿 (1) 血尿+蛋白尿 (1)	22
血圧	82	2.1	再検査で異常なし (7)	高血圧 (1) 経過観察(73)		1

学生定期健康診断における有所見者は、のべ734人であった。有所見者に対しては再検査や病院紹介等を行っているが、精密検査の結果問題なしは485人、経過観察は181人、要治療（治療中含む）の学生は28人であった。定期健康診断で見えられた疾患は、甲状腺機能亢進症、バセドウ病、1型糖尿病、鉄欠乏性貧血などである。又、治療が必要にも関わらず治療を中断している学生や、循環器疾患等で経過観察を中断している学生、精神的な問題を抱えている事が明らかな学生に対しては、内科医や精神科医による医師面談等を実施し、受診奨励を行った。

④学生の身体状況（肥満とやせ）

1) 身長・体重・BMIの平均値 性×学年別

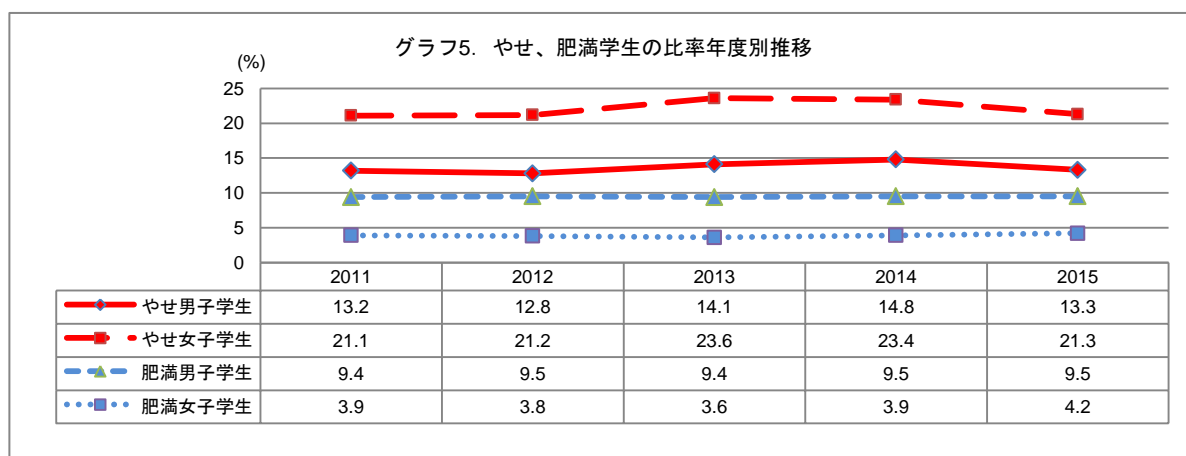
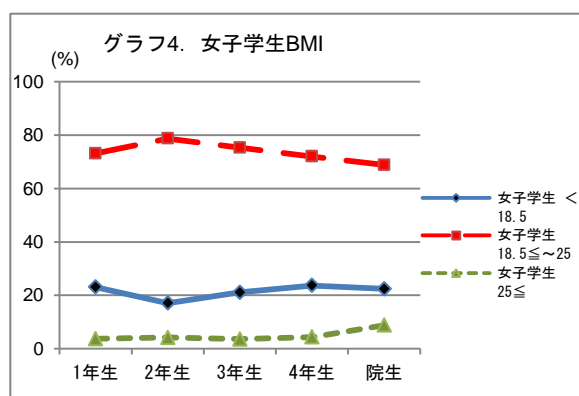
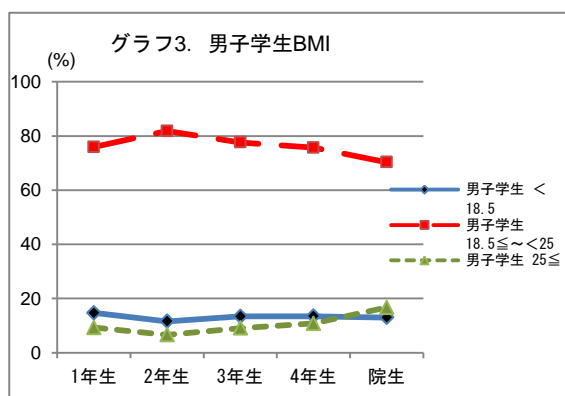
(2015年4月24日現在)

学年	男子学生				女子学生			
	身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生	171.5	62.5	21.2	18.5	158.5	50.7	20.2	18.2
2年生	171.8	62.2	21.1	19.5	158.5	51.7	20.5	19.3
3年生	171.8	62.6	21.2	20.7	158.6	51.1	20.3	20.3
4年生	172.0	63.5	21.4	22.1	159.1	51.2	20.2	21.7
大学院生 専門職大学院生	171.8	65.0	22.0	28.2	159.0	52.3	20.7	31.3
全体平均	171.8	62.9	21.3	20.5	158.7	51.2	20.3	20.0

2) 学年別やせの者・正常者・肥満者の割合 性×学年別

(2015年4月24日現在)

学年	男子学生			女子学生		
	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)
1年生	14.7	75.9	9.3	23.1	73.1	3.7
2年生	11.6	81.8	6.6	17.1	78.7	4.2
3年生	13.4	77.6	9.1	21.1	75.3	3.6
4年生	13.5	75.7	10.8	23.7	72.0	4.4
大学院生 専門職大学院生	13.0	70.3	16.7	22.4	68.8	8.8
全体平均	13.3	77.2	9.5	21.3	74.5	4.2



身体状況に関しては平均身長、平均体重とも全学年を通して毎年大きな変化はない。体格指数（BMI）については、全国平均（2010年学生の健康白書）と比較するとやせ（<18.5）の割合は多いが、昨年度と比較すると、全学年、男女ともやせは減少している。青山キャンパスでは、BMI30以上の学生を対象に、保健指導と肥満予防に関する学内便りの発行を、年2回実施した。対象者は130名（男性98名、女性32名）であり、計78名の学生に個別指導を行うことができた。

⑤学生集団健康教育

個別の健康相談・健康教育と共に、2015年度は新たに学生の集団健康教育に取り組んだ。保健管理センター内では、「生理痛」「子宮頸がん」「睡眠」に関する3つのミニセミナーを実施した。また、外部の講師を招き、「海外渡航時の健康管理」「女性と男性のからだと健康・妊娠・出産」に関する2つのセミナーを実施した。参加人数については下記の表を参照。

実施後のアンケート調査では、「自分の知らなかったことで重要なことが多々あった」、「知っていると思っていた事でも詳しく理解していない部分もありためになった」、「実践しやすい具体例を提示されたので今後に生かしていきたい」等、総じて好評の評価を得て、参加者に対するセミナーの目的は達せられた。

反面、早い段階で企画、宣伝したにも関わらず、学生の参加数が少なく、学生にとっての好機を生かし切れなかった点は今後の課題である。事前申し込み制セミナーでの学生の動向をみると、一定の参加希望者はいるものの、実際参加する学生は申込者の半数以下であり、関心はあるものの、健康セミナーに対する学生の優先順位は低い事がうかがえた。

集団健康教育は個別の健康相談・健康教育とはまた違う視点から新たな知識を得る機会でもあり、学生が参加しやすい時期、時間等考慮しながら、今後もミニセミナーを中心に、集団健康教育を続けていきたいと考える。

保健管理センター内で実施

テーマ	①女子大生の生理事情～生理痛、我慢しないで～
日時	2015年10月7日(水) 13:00～13:30
参加者	学生1名
講師	保健師
内容	1.生理痛とは? 2.現代と昔の女性の生理事情 3.生理痛の治療

テーマ	②早期発見・早期治療で治せる子宮頸がん
日時	2015年11月18日(水) 13:00～13:40
参加者	学生2名
講師	保健師
内容	1.女性のからだのしくみ 2.若い女性に増えている子宮頸がんとは? 3.子宮頸がんの早期発見、予防

テーマ	③睡眠ミニ講座
日時	2015年12月2日(水) 15:00～16:00 2016年1月13日(水) 15:00～16:00
参加者	12/2 学生2名 ・ 1/13 学生5名
講師	非常勤精神科医
内容 (各日同内容)	1.不眠症の診断基準、不眠の種類 2.睡眠不足はなぜ問題か? 3.良い睡眠をとるにはどのようにしたら良いか

外部講師を招いて実施

テーマ	①海外留学医療特別セミナー
日時	2015年12月10日(木) 15:00～16:30
参加者	学生・教職員含めて12名
講師	千駄ヶ谷インターナショナルクリニック院長篠塚規医師 (日本旅行医学会理事)
内容	1.留学時持参すべき薬剤と注意点 2.日本と海外の救急外来・一般外来の違い 3.言葉の壁と病院受診、海外旅行保険について

テーマ	②大学生のためのライブプランニング 今から知っておきたい女性と男性のからだと健康～妊娠・出産に関する事～
日時	2015年12月16日(水) 13:00～15:00
参加者	学生・教職員含めて50名
講師	宮益坂リサーチクリニック院長 長岡美樹医師 (東京都「大学生のための妊娠・出産に関する出前講座」を活用して実施)
内容	1.女性と男性のからだのしくみ 2.卵子の老化と妊娠適齢期、高齢出産のリスク 3.不妊の原因、出産を踏まえたライブプラン

⑥感染症罹患報告者数

疾患名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
結核	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
インフルエンザ	6	6	1	1	0	0	3	2	0	31	2	0	52
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
溶連菌感染症	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
水痘	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	8	6	3	2	0	1	4	2	0	36	2	0	64

感染症罹患報告者総数は64名であり、インフルエンザの報告が全体の約8割を占めている。東京都感染症情報センターによると、2015/2016シーズンのインフルエンザの流行開始時期は1月上旬で、学生の罹患報告者数も流行に合わせて増加した。

⑦学生の休学・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	33	9	42
	内科疾患・その他疾患	4	3	7
	不明	4	0	4
	合計	41	12	53
病気療養による 退学者数	精神疾患	4	5	9
	内科疾患・その他	2	1	3
	合計	6	6	12
死亡退学者数		4	1	5

2015年度の病気休学者数は例年と大きな変化はない。病気退学者数は2014年度よりやや減少したものの、死亡退学者数が2014年度の2名から5名に増えている。病気休学者のうち、精神疾患の占める割合は79.2%であった。精神疾患による休学者中、1年以上休学している学生は12%弱であり、また、休学から退学に至る学生は約8%となっている。

3. 教職員定期健康診断

①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

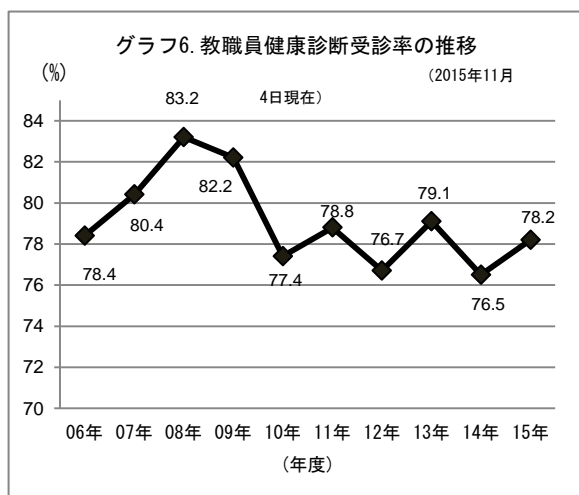
(2015年11月4日現在)

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数												
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的検査 （梅毒・血反応）	肝炎ウイルス検査	生活調査	
大学本務教員	402	238	22	64.7	234	212	239	235	221	239	188	243	217	193	21	243	
大学兼務教員	2	2	0	100	2	1	2	2	2	2	1	2	1	1	0	2	
本務職員(本部・大学)	351	268	36	86.6	257	160	267	260	236	267	140	263	155	146	12	263	
兼務職員	82	70	2	87.8	66	34	70	62	46	70	32	70	35	29	10	70	
幼稚園・本務兼務教職員	15	12	1	86.7	12	5	12	12	10	12	4	12	5	4	1	12	
合計	852	590	61	76.4	571	412	590	571	515	590	365	590	413	373	44	590	
有所見者数					32	55	114	15	345	135	27	193	117	15	9		

相模原キャンパス

(2015年11月4日現在)

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数												
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的検査 （梅毒・血反応）	肝炎ウイルス検査	生活調査	
大学本務教員	192	146	8	80.2	141	90	145	144	98	145	76	145	89	78	11	146	
大学兼務教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
本務職員(本部・大学)	84	65	8	86.9	63	43	65	65	55	65	34	65	40	37	1	65	
兼務職員	54	44	2	85.2	43	35	44	42	35	44	28	44	35	31	11	44	
合計	330	255	18	82.7	247	168	254	251	188	254	138	254	164	146	23	255	
有所見者数					105	33	29	14	128	23	31	68	67	9	3		



今年度の学院職員組織目標の一つが、教職員健康診断の受診率の向上であり、11月時点での本務職員の受診率は2014年度の85.6%から86.6%と若干増加した。保健管理センターでは9月末の教職員健康診断実施後、未受診者に対し、個別に人間ドックでの受診奨励を行う等、受診率の向上に努め、年度末時点の本務職員の最終受診率は95.0%となった。

一方、青山キャンパス教員の受診率の低さが毎年問題となっており、各学部の保健管理センター運営委員にも、教授会等を通しての受診奨励を依頼しているが、2015年度の受診率は、2014年度の62.5%よりは若干増加したものの、64.7%と低い。未受診の教員に対しても個別に人間ドック等での受診奨励を行っているが、受診に応じた教員は極少数にとどまった。

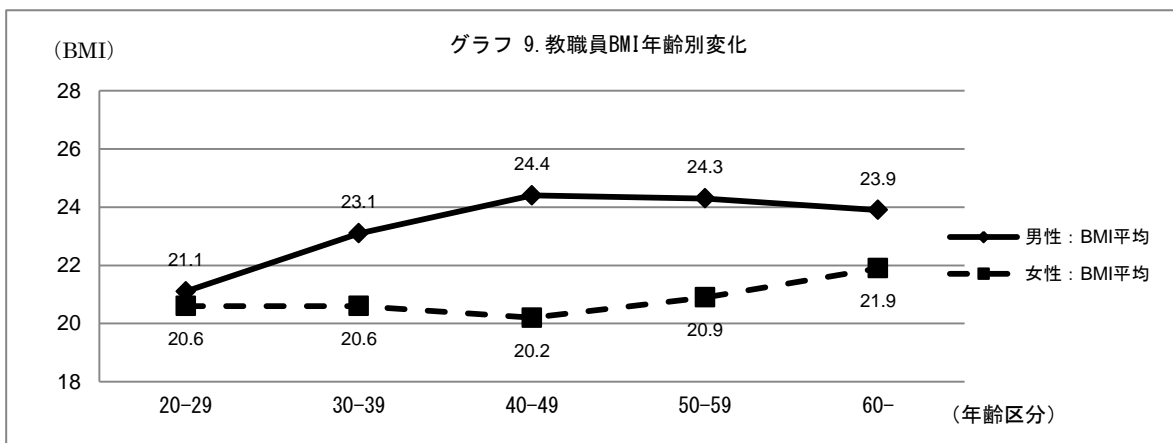
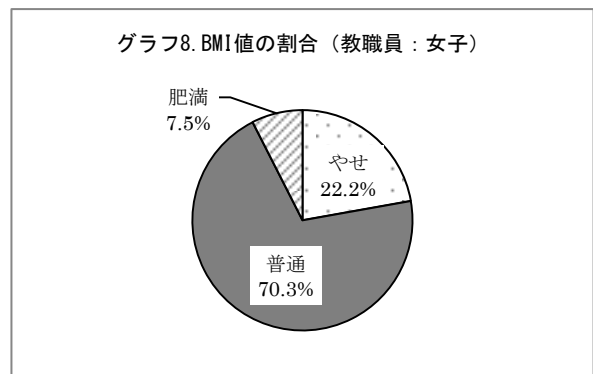
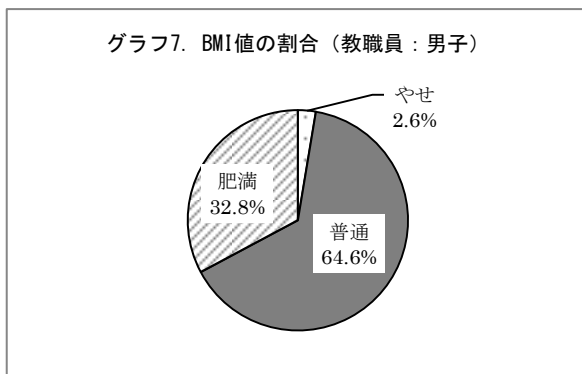
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

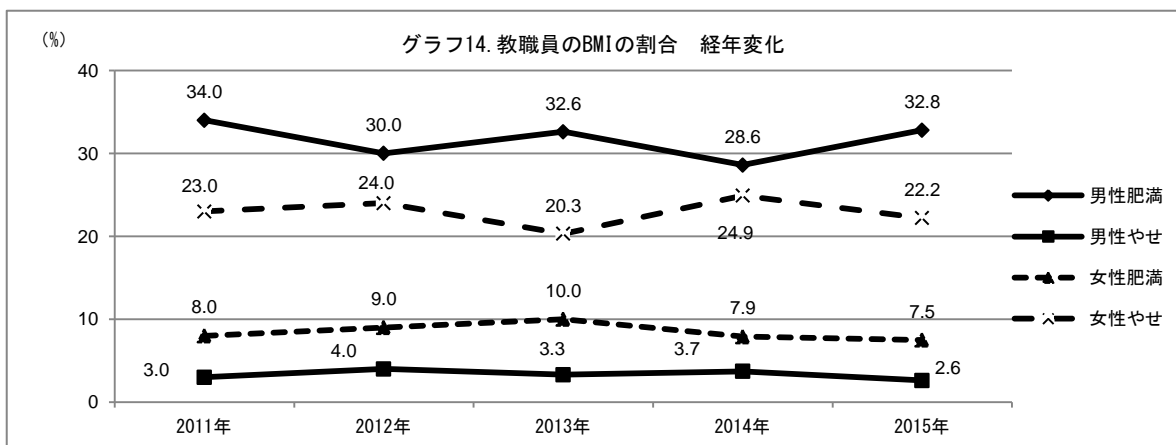
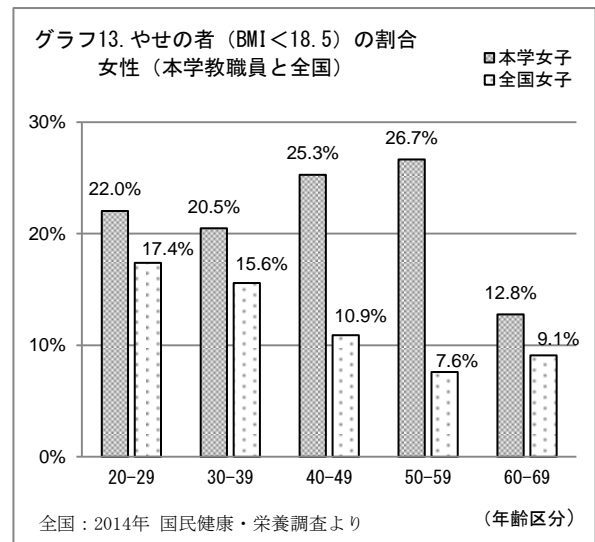
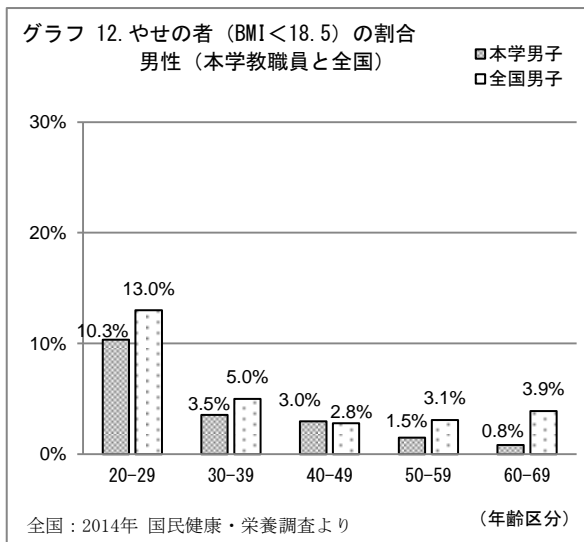
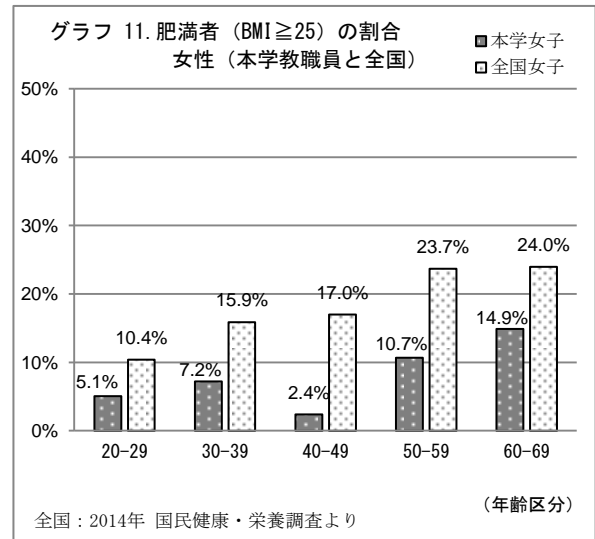
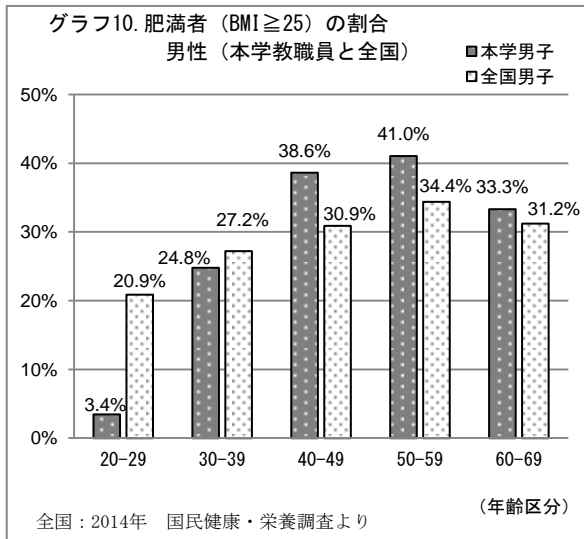
健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過			
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
胸部レントゲン	137	16.7	104	31	後縦隔腫瘍 (1) 肺Ca 治療中 (1)	0
心電図	88	15.2	45	39	上室性期外収縮 (2) 精査中報告無 (1)	1
血圧	143	16.9	23	71	高血圧症 (40)	9
尿検査	29	3.5	17	3	糖尿病 (4) IgA腎症 (1) 慢性腎炎 (1) 精査中(1)	2
血液検査	473	67.3	96	283	脂質異常症 (61) 血糖能異常 (27) 高尿酸血症 (23) 肝機能障害 (3) 腎疾患 (1) 貧血 (2)	3
肝炎ウイルス検査	12	17.9	3	9	0	0
免疫学的便潜血反応	24	4.6	7	0	ポリープ (2) 痔核 (1) 精査中報告無 (14)	0

教職員健康診断における有所見者数はのべ906人であった。項目別有所見率でみると、昨年同様、血液検査の有所見率が最も高く67.3%を占めている。2015年度より、定期健康診断時の血糖検査における判定基準を変更した事も影響し、2014年度に比較し、約7%有所見率が増加している。引き続き、医師面接や保健指導等を通じて、早期からの生活習慣病の改善や予防に努めていく必要がある。

③教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学：教職員健康診断受診者 男性497人、女性347人より算出





教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性の肥満 32.8%、やせ 2.6%、女性の肥満 7.5%、やせ 22.2%であった。前年度と比較して男性の肥満で 4.2%の増加、女性のやせで 2.7%の減少が見られたが、男性のやせと女性の肥満は、ほぼ横ばいである。男性の肥満は 30 代までは全国平均を下回っているが、40 歳以上では全国平均を上回っている。女性では全年代で全国平均を下回っている。男性のやせは 40 代は全国平均とほぼ同じであるが、40 代以外では全国平均を下回っている。女性は全年代で全国平均を上回り、前年度同様 40-50 代に全国割合を大きく上回っている。全国と比較して男性職員は肥満が多く、女性はやせが多い傾向にある。

④保健指導と集団健康教育

【保健指導】

青山キャンパスでは、通常健康診断事後措置（医師面談・受診勧奨）と共に、教職員に対して保健指導を行っている。2015年度の対象者は181名であり、その内42名（男性21名、女性21名）に対して個別保健指導を実施することができた。案内に対して保健指導を希望した者の割合は、男性26.6%、女性20.6%であり、男女共に自己の健康に対する関心や意識は高いとは言えない。また、保健指導を希望し実施に至った者の9割以上が職員であり、教員の健康意識の向上については、より力を入れて取り組む必要がある。

【集団健康教育】

今年度の集団健康教育は、がんと循環器の2つのテーマで実施した。それぞれの講義内容、参加人数については下記の表を参照。①がんをテーマとした「がんにならないための生活習慣」では、2人に1人ががんになるといわれる時代であり、メディアでも多くのがん情報が発信される中で、教職員の関心も非常に高く、多くの参加者を得た。②循環器講座「高血圧や動脈硬化が気になる人へ～あなたの血管大丈夫？～」では、参加動機が「健診結果で所見があったため」が半数と最も多く、「興味があったため」「家族に脳・心臓血管疾患になった人がいる」「保健師や同僚に誘われたから」の順であった。また時間を30分と短く設定し、2回に分けて実施することで、多くの教職員が参加しやすいよう工夫した。今後の集団健康教育でも、ニーズに合わせた内容や、多くの教職員が参加しやすい環境づくりを工夫していきたい。

テーマ	①がんにならないための生活習慣
日時	2015年10月22日（木）16:15～17:00
参加者	教職員 31名
講師	産業医
内容	1.がんの統計 2.がんとは？ 3.がん予防

テーマ	②高血圧や動脈硬化が気になるひとへ ～あなたの血管大丈夫？～
日時	2016年1月12日（火）13:30～14:00 2016年1月19日（火）13:00～13:30
参加者	1/12 教職員7名・1/19 教職員10名
講師	循環器内科医（非常勤医師）
内容 (各日同内容)	1.高血圧の発見 2.高血圧の何が悪いの？ 3.高血圧はどのように診断するの？ 4.高血圧を改善するにはどうしたらいいの？ 5.Q&A

⑤教職員の休職・復職者数

休職・復職事由	青山キャンパス			相模原キャンパス		
	休職	復職	再休職	休職	復職	再休職
精神的疾患	5	3	1	0	0	0
身体的疾患	2	0	0	0	0	0
合計	7	3	1	0	0	0
全教職員に対する休職者の割合(%)	0.86	0.37	0.12	0	0	0

上記は療養就業規則上の休職者数である。2013年度より整備化された復職支援体制が軌道にのり、他職種との連携が取れるようになってきている。今年度は、復職支援プログラムを適用して復職した職員がおり、いずれも復職後の定着率が高い。さらに、今年度は、管理職に対して、メンタルヘルスのラインケア研修を実施し、ラインケアの意識づけと学院の復職支援体制の周知を強化した。全教職員に対して、セルフケア研修として睡眠に関する講義を実施した。今後も引き続きメンタル研修を継続し、教職員のメンタルヘルスケアに対する意識の向上に努めたい。

⑥長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防ぐために、安全衛生法に従い、2015年3月より、長時間労働者（事務職員）に対する産業医による面接指導を実施。

【面接指導対象者、及び指導項目】

残業時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外80時間越え	○	必須
法定外60時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

対象者・指導項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
残業時間法定外80時間越え対象者数	4	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	11
残業時間法定外60時間越え対象者数	7	7	2	3	3	0	1	3	2	1	2	4	35
疲労度チェック回答数	11	10	3	3	3	0	1	4	2	1	2	6	46
医師面談数	4	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	11

今回の対象者において、就業上配慮を要するケースはなかった。対象者の多くは、面談時には業務がピークアウトし、休養することができていた。また、産業医面談後は、上司・人事へ必要な情報を提供し、対応策について検討する機会となった。

4. その他の法定健康診断

①特殊健康診断（相模原キャンパス）

1) 特殊健康診断実施者数

(2016年3月31日現在)

項目	内訳	対象者数 (人)			受診者数 (人)			受診率 (%)		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期特殊健康診断		43	210	253	43	210	253	100	100	100
内訳	電離放射線	37	168	205	37	168	205	100	100	100
	有機溶剤	10	142	152	10	142	152	100	100	100
	特定化学物質	12	142	154	12	142	154	100	100	100
秋期特殊健康診断		43	141	184	43	141	184	100	100	100
内訳	電離放射線	38	—	38	38	—	38	100	—	100
	有機溶剤	9	141	150	9	141	150	100	100	100
	特定化学物質	16	141	157	16	141	157	100	100	100

※四捨五入 2) 電離放射線

健康診断結果

(2016年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	電離放射線使用による健康障害	37	168	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	白血球数・白血球百分率検査	37	168	205	5	8	13	13.5	4.8	6.3	4	7	1	1	
	貧血検査	37	168	205	0	1	1	0	0.6	0.5	0	1	0	0	貧血・ヘムプレット配布 (7人)
	水晶体・皮膚所見	37	168	205	0	1	1	0	0.6	0	0	0	0	1	
	自覚症状検査	37	168	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋期	電離放射線使用による健康障害	38	—	38	0	—	0	0	—	0	0	—	0	—	
	白血球数・白血球百分率検査	38	—	38	2	—	2	5.3	—	5.3	0	—	2	—	
	貧血検査	38	—	38	0	—	0	0	—	0	0	—	0	—	
	水晶体・皮膚所見	38	—	38	0	—	0	0	—	0	0	—	0	—	
	自覚症状検査	38	—	38	0	—	0	0	—	0	0	—	0	—	

※四捨五入

3) 有機溶剤健康診断結果

(2016年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	有機溶剤による健康障害	10	142	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	蛋白尿	10	142	152	0	1	1	0	0.7	0.7	0	1	0	0	
	貧血検査	0	142	142	0	2	2	0	1.4	1.4	0	1	0	1	貧血・ヘムプレット配布 (7人)
	肝機能検査	2	142	144	0	2	2	0	1.4	1.4	0	2	0	0	
	尿代謝物検査	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	キシレン、N-メチルピロリジン、アルデヒド、ホルムアルデヒド、ニッケル、ベンゼン
	自覚症状検査	10	142	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋期	有機溶剤による健康障害	9	141	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	蛋白尿	9	141	150	2	1	3	22.2	0.7	2	1	0	1	1	
	貧血検査	0	141	141	0	1	1	0	0.7	0.7	0	0	0	1	貧血・ヘムプレット配布 (6人)
	肝機能検査	2	141	143	0	2	2	0	1.4	1.4	0	0	0	2	皮膚・ヘムプレット配布 (1人)
	尿代謝物検査	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	キシレン、N-メチルピロリジン、アルデヒド、ホルムアルデヒド、ニッケル、ベンゼン
	自覚症状検査	9	141	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※学生の有機溶剤健康診断結果は特定化学物質健康診断を兼ねてカウント。

4) 特定化学物質健康診断結果

(2016年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数(人)	有所見者数(人)	有所見率(%)	再検査・精査(人)	経過観察(人)	
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員
春 期	特定化学物質による健康障害	12	0	0	0	0	
	自覚症状調査	12	0	0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	10	0	0	0	0	
	肺活量	0	0	0	0	0	
	胸部直接撮影	2	1	50.0	0	1	
	血圧測定	0	0	0	0	0	
	尿カクレニンゲン	2	0	0	0	0	
	貧血検査・白血球数	9	0	0	0	0	
	全血比重	4	0	0	0	0	
	握力	1	0	0	0	0	
	鼻の所見	7	0	0	0	0	
	歯の所見	2	0	0	0	0	
	肝機能検査	5	1	20.0	1	0	
	皮膚所見	12	0	0	0	0	
	延べ人数合計	78	2	—	1	1	
秋 期	特定化学物質による健康障害	16	0	0	0	0	
	自覚症状調査	16	0	0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	11	2	18.1	1	1	
	肺活量	0	0	0	0	0	
	胸部直接撮影	2	1	50.0	0	1	
	血圧測定	0	0	0	0	0	
	尿カクレニンゲン	2	0	0	0	0	
	貧血検査・白血球数	14	0	0	0	0	
	全血比重	4	0	0	0	0	
	握力	2	0	0	0	0	
	鼻の所見	7	0	0	0	0	
	歯の所見	2	0	0	0	0	
	肝機能検査	10	4	40.0	0	4	肥満・シフレット配布(1人)
	皮膚所見	16	0	0	0	0	
	延べ人数合計	102	7	—	1	6	

放射線・有機溶剤・特定化学物質を研究や指導等で取り扱う教職員と学生を対象に、法令による特殊健康診断を年2回(学生電離放射線健康診断は年1回)実施しているが、学内で受診できなかった学生・教職員(春:4名、秋13名)は外部受診している。受診率は、前年度同様100%を維持している。有所見者への対応としては、再検査(尿・血液)及び病院紹介を行った。

②雇入時の健康診断

1) 雇入れ時健康診断受診者数 *外部医療機関にて実施*

(2016年3月31日現在)

所属	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本部	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
大学	77	4	2	1	1	4	9	2	1	1	1	0	103
女子短期大学	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
高等部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中等部	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
初等部	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
幼稚園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	115	5	2	1	1	4	9	2	1	1	1	0	142

2) 雇入時の健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果	治療中
胸部レントゲン	9	0	8	1	問題なし (1)	
心電図	14	0	12	2	問題なし (2)	
血圧	8	0	6	2		高血圧(2)
尿検査	0	0	0	0		
血液検査	62	0	48	14	問題なし (2) 経過観察 (1) 未報告 (4)	貧血(2) 糖尿病 (2) 脂質異常症 (3)

雇入れ健康診断実施者 142 名中、有所見者は 76 名と約半数以上に及ぶ。有所見で多いのは、脂質異常症 48 名、肝機能障害 22 名で、その他に貧血、糖代謝異常、高血圧を認めた。また、肥満者は 20 名、やせの者は 15 名であった。2015 年度の雇入れ健康診断実施者の平均年齢は 35.9 歳だが、昨年に引き続き雇入れ時から既に生活習慣病関連項目の有所見率は高い。

③特定業務従事者健康診断

2015 年度は対象者が相模原キャンパスの 1 名であった。勤務が不規則な夜間業務従事者のため、本人と受診可能な日程を調整し実施した。

5. 健康診断証明書発行業務

①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2016年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動 発行 内 訳	1年生	人数	13	18	11	28	2	6	9	3	3	2	1	4	100
		枚数	13	18	12	28	2	6	9	3	3	2	1	4	101
	2年生	人数	8	13	20	31	0	3	4	2	0	4	2	0	87
		枚数	8	14	20	31	0	3	4	2	0	4	2	0	88
	3年生	人数	7	24	40	75	28	17	41	18	13	10	13	79	365
		枚数	8	25	40	77	30	17	41	18	13	10	13	111	403
	4年生	人数	181	741	749	1046	647	467	192	93	37	37	43	49	4282
		枚数	252	957	876	1331	846	543	235	112	44	43	51	51	5341
	大 学 院 生	人数	4	15	6	16	5	5	7	2	9	1	6	7	83
		枚数	4	18	7	22	6	5	7	3	11	1	8	9	101
	専門職大 学院生	人数	2	7	7	3	4	6	2	1	1	1	2	1	37
		枚数	3	10	10	3	6	7	2	1	1	1	3	1	48
	科目等 履修生	人数	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5
		枚数	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	7
窓口発行 <small>含実習簿</small>	人数	5	5	4	5	18	1	7	10	2	4	3	20	84	
	枚数	6	5	4	8	23	1	8	10	2	4	3	23	97	
合 計	人数	220	824	838	1205	705	505	262	129	65	59	70	161	5043	
	枚数	294	1048	972	1501	914	582	306	149	74	65	81	200	6186	

②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2016年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動 発行 内 訳	1年生	人数	2	2	6	7	1	3	2	1	1	0	0	1	26
		枚数	2	2	6	7	1	3	2	1	1	0	0	1	26
	2年生	人数	2	3	3	5	0	0	2	1	2	1	0	0	19
		枚数	2	3	3	5	0	0	2	1	2	1	0	0	19
	3年生	人数	1	7	3	8	2	5	2	2	1	3	3	15	52
		枚数	1	7	3	9	2	7	2	3	1	3	4	20	62
	4年生	人数	62	226	158	172	62	56	27	12	8	6	13	11	813
		枚数	104	287	183	208	89	60	32	12	8	6	13	11	1013
	大 学 院 生	人数	20	67	58	65	19	14	4	2	0	2	2	16	269
		枚数	32	101	70	76	24	16	4	2	0	2	2	24	353
	科目等 履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窓口発行 <small>含実習簿</small>	人数	0	2	2	1	3	1	0	1	1	0	0	1	12
		枚数	0	3	2	1	3	1	0	1	1	0	0	1	13
合 計	人数	87	307	230	258	87	79	37	19	13	12	18	44	1191	
	枚数	141	403	267	306	119	87	42	20	13	12	19	57	1486	

健康診断証明書発行枚数は昨年より増加した。2015年度の進路決定率が昨年を上回っているが、エントリー数・応募企業数は減少傾向にあるため、証明書発行枚数増加と就職活動との相関関係はないと思われる。

6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

①青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2016年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	279	135	121	100	11	29	67	65	83	58	17	11	976
		女	1039	263	185	172	6	46	95	82	147	55	21	14	2125
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	24	15	30	19	8	14	20	65	26	15	20	19	275	
	女	23	9	32	28	6	18	64	39	46	28	18	19	330	
その他			6	1	2	3	15	1	4	6	3	3	36	7	87
合計			1371	423	370	322	46	108	250	257	305	159	112	70	3793

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		24	19	40	25	8	9	13	14	4	7	10	3	176
	検尿		943	167	29	12	1	7	29	7	2	3	3	0	1203
	検便		5	6	5	32	2	7	28	2	1	1	0	0	89
	血液		14	12	2	0	1	0	0	2	1	2	1	0	35
	視力		62	3	2	3	0	0	2	1	0	1	1	1	76
	心電図		2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	計測		55	50	64	54	8	24	43	47	36	25	23	11	440
	聴力		1	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8
	自動血圧計		28	23	64	53	0	12	60	43	29	55	22	18	407
体脂肪計		1	0	26	11	0	2	0	0	4	4	1	2	51	
処置	投薬		31	30	32	49	6	17	37	36	28	19	18	6	309
	処置		44	31	48	30	12	12	32	26	25	8	9	11	288
	ベッド休養		50	54	80	75	9	19	54	42	43	25	26	7	484
	医師診療		103	33	31	23	3	13	20	54	33	21	36	13	383
	病院紹介		28	23	29	20	1	9	20	26	10	15	3	5	189
	救急車		1	0	2	0	0	0	1	2	0	2	0	0	8
	病院搬送		2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	保健指導		4	10	56	14	0	1	3	22	16	11	1	2	140
問診調査・相談		92	63	68	77	13	23	48	71	157	53	37	26	728	
合計		1490	530	578	480	64	156	390	396	389	252	191	105	5021	

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		13	13	14	12	3	3	14	10	15	12	12	3	124
感冒		30	30	47	37	3	16	28	37	22	12	8	8	278
頭痛		9	7	18	12	1	1	3	8	5	6	6	2	78
気分不快		21	19	22	20	4	12	24	7	12	8	15	3	167
貧血		3	1	4	1	1	1	0	1	0	0	0	0	12
切傷		6	4	4	3	1	1	6	1	3	2	1	5	37
外傷		15	21	25	17	4	8	9	11	11	4	3	3	131
化膿		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
捻挫・打撲		10	6	16	7	2	4	3	6	12	4	0	3	73
骨折・脱臼		0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3
腰・筋肉痛		4	3	0	5	0	1	2	1	0	2	0	0	18
火傷		4	1	3	1	1	2	6	2	3	1	2	1	27
皮膚疾患		2	1	2	4	0	0	3	5	1	3	2	0	23
昆虫刺傷		1	3	6	2	1	2	7	3	0	0	0	1	26
眼疾患		4	6	2	3	1	2	2	4	1	2	1	0	28
歯疾患		0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	6
耳鼻科疾患		0	3	1	0	0	0	2	1	0	2	5	0	14
生理痛		15	12	9	21	2	2	16	11	10	7	4	1	110
泌尿器疾患		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
口腔疾患		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神疾患		14	16	24	20	1	11	13	8	18	8	5	9	147
その他の疼痛		1	0	1	3	1	1	1	3	2	0	1	0	14
その他		17	12	9	13	2	6	7	6	4	5	12	7	100
合計		170	160	208	182	28	74	148	127	120	78	78	47	1420

②相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2016年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	105	46	36	29	4	19	38	39	36	16	17	3	388
		女	206	31	34	16	4	13	16	23	29	12	2	3	389
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	7	9	10	7	1	4	12	37	7	20	4	18	136	
	女	6	0	1	2	3	2	11	22	4	6	6	3	66	
その他			1	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	8
合計			325	88	83	54	13	38	78	121	76	54	29	28	987

(検査・処置等利用内容別件数)

検査・処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	2	4	5	0	2	3	0	4	4	2	1	0	0	27
	検尿	151	5	2	1	0	0	11	3	1	0	0	0	2	176
	検便	0	0	0	4	2	0	10	4	0	0	0	0	0	20
	血液	6	1	13	2	0	0	0	2	0	0	1	4	29	
	視力	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	計測	17	19	18	15	4	6	13	10	6	13	11	0	0	132
	聴力	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
	自動血圧計	14	15	11	5	5	8	4	15	16	20	24	62	199	
体脂肪計	0	6	0	1	2	1	1	1	0	1	3	4	20		
処置	投薬	13	17	12	9	2	5	16	7	9	9	6	4	109	
	処置	16	13	27	12	5	6	24	13	17	16	13	5	167	
	ベッド休養	3	9	11	4	2	4	6	1	2	7	3	1	53	
	医師診療	52	11	19	13	1	5	9	37	16	16	2	8	189	
	病院紹介	23	3	5	4	1	4	7	19	5	4	6	0	81	
	救急車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病院搬送	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	
	保健指導	10	5	4	4	0	1	2	5	2	0	2	0	35	
	問診調査・相談	22	30	11	16	5	25	17	62	37	22	6	8	261	
合計		336	142	138	90	31	69	120	185	116	110	79	98	1514	

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状	7	8	5	6	1	1	4	1	3	5	2	2	45	
感冒	12	5	8	7	1	3	11	6	5	9	8	0	75	
頭痛	13	5	8	3	1	3	5	4	3	3	2	2	52	
気分不快	0	3	2	0	2	3	0	1	0	2	0	0	13	
貧血	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	
切傷	1	3	1	3	0	0	1	2	3	2	3	2	21	
外傷	0	0	10	4	1	0	6	4	1	6	3	1	36	
化膿	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
捻挫・打撲	6	4	10	3	2	1	6	2	4	2	0	0	40	
骨折・脱臼	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	
腰・筋肉痛	1	1	2	0	0	1	4	4	1	1	2	1	18	
火傷	1	1	1	0	1	1	5	1	0	0	0	0	11	
皮膚疾患	0	0	2	0	0	1	2	0	3	0	0	0	8	
昆虫刺傷	0	0	1	3	1	1	2	0	0	0	0	0	8	
眼疾患	2	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	0	8	
歯疾患	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4	
耳鼻科疾患	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
生理痛	0	1	3	0	0	2	3	0	2	1	1	1	14	
泌尿器疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔疾患	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
精神疾患	1	4	3	3	1	5	2	1	1	0	0	1	22	
その他の疼痛	2	2	1	0	0	0	1	0	0	3	3	0	12	
その他	0	4	2	1	0	9	4	2	10	10	4	6	52	
合計		48	44	60	35	12	36	57	30	41	44	28	17	452

検査・処置等利用内容は、例年と比べて大きな変化はみられなかった。症状・疾患別利用者は、例年と同様、感冒、頭痛、胃腸症状が上位を占めている。今年度は救急車要請の場面はなかった。

7. 各キャンパス業務内容利用状況

①青山キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2016年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	13031	0	0	0	0	590	0	0	0	0	0	0	13621
外部受診者数	19	24	23	19	4	4	14	4	0	1	0	0	112
保険診療者数	4	2	3	2	2	3	3	2	2	3	2	2	30
証明書発行者数	5	5	4	5	18	1	7	10	2	4	3	20	84
救急処置・検査等	1371	423	370	322	46	108	250	257	305	159	112	70	3793
自動血圧計	28	23	64	53	0	12	60	43	29	55	22	18	407
体脂肪計	1	0	26	11	0	2	0	0	4	4	1	2	51
合計	14459	477	490	412	70	720	334	316	342	226	140	112	18098

2) 精神衛生相談者数 (精神科医)

(2016年3月31日現在)

身分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	4	6	4	2	1	3	2	2	5	2	1	2	34
教職員	7	5	11	11	1	5	4	1	7	7	3	1	63
合計	11	11	15	13	2	8	6	3	12	9	4	3	97

3) 教職員有疾病・有所見者管理者呼出し対象者数

対象者及び来室者数

(2016年6月31日現在)

呼出し月	教 職 員	
	対象者数	来室者数
2015年11月	120	91
2016年1月	13	7
2016年3月	4	3
2016年6月	2	2

(上記人数は実人数である)

呼出し対象者結果 (のべ人数)

呼出し対象 検査項目	実施月	教職員		再検査、医師面接等の結果			未来室
		対象者数	来室者数	異常なし	経過観察	治療中 病院受診奨励	
血液検査	2015年11月	52	35	1	6	28	17
	2016年 1月	4	4	0	2	2	0
	2016年 3月	1	1	0	0	1	0
	2016年 6月	2	0	0	1	1	0
尿検査	2015年11月	3	3	1	0	2	0
便潜血反応検査	2015年11月	15	12	1	1	10	3
	2016年 3月	1	0	0	0	0	1
血圧	2015年11月	22	12	0	5	7	10
	2016年 1月	6	1	0	0	1	5
	2016年 3月	2	0	0	0	0	2
胸部レントゲン	2015年11月	1	1	0	1	0	0
心電図	2015年11月	21	19	1	10	8	2
	2016年 1月	3	2	0	1	1	1
	2016年 3月	1	0	0	0	0	1
診察所見 自覚症状	2015年11月	11	10	0	4	6	1

4) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2016年3月31日現在)

内訳		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
身分	学生	2	1	2	0	0	0	1	2	0	1	0	0	9
	教職員・その他	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
合計		3	1	2	1	0	0	1	2	0	2	0	0	12
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾病	3	1	2	1	0	0	1	2	0	2	0	0	12
対応	救急車依頼	1	0	2	0	0	0	1	2	0	2	0	0	8
	病院搬送	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

5) 夜間開室時間帯の利用者数（救急処置・検査等保健管理センター利用状況）（2016年3月31日現在）

内訳	身分						その他	合計	内容								時間	
	昼間部		夜間部		教職員				投薬	処置	ベッド休養	医師面接	病院紹介	問診	再検査等	その他	17:00 18:00	18:00 19:00
	男	女	男	女	男	女												
4月	9	7	0	0	5	10	1	32	8	7	7	1	6	1	8	3	19	13
5月	10	7	0	0	0	0	0	17	1	4	4	1	4	0	0	4	6	11
6月	9	8	0	0	0	0	1	18	2	5	3	0	3	1	0	6	14	4
7月	6	4	0	0	0	1	2	13	3	4	1	0	2	2	0	3	10	3
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	7	11	0	0	0	0	0	18	5	11	1	0	2	0	0	3	13	5
11月	7	6	0	0	0	0	0	13	2	5	1	0	3	3	0	1	8	5
12月	6	8	0	0	0	0	0	14	3	5	3	0	1	2	0	2	10	4
1月	2	1	0	0	1	0	0	4	0	2	0	1	0	0	0	1	2	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56	53	0	0	6	11	4	130	25	44	20	3	21	9	8	23	82	48

保健管理センター全来室者数は、ほぼ例年通りである。救急処置・検査等での来室者の内訳では、ベッド休養件数が418件から484件と増えており、気分不快で保健管理センターを利用した学生は増加傾向にあった。

精神科医による精神衛生相談件数では、学生の相談件数がやや減少した反面、セカンダリーを含めた教職員の復職、休職のフォロー相談数が増えているため、件数的には昨年度とほぼ同数であった。

精神衛生相談を含め、医師の診察、保健指導、健康相談、産業医面談、救急処置及び検査等にはそれぞれプライバシーが保たれた個室を要するが、保健管理センターの面談室は2箇所、処置室は1箇所のみであり、以前から、来室者が重なった場合の個室の確保が問題となっている。2013年度以後、復職支援体制の強化に伴う面談件数の増加でさらに状況は悪化しており、面談に適した環境を確保できないといった事態も生じている。保健管理センター面談室等の増設は長年の課題であるが、いまだ改善には至っていない。

救急車の搬送は8件で、内科疾患系が7件、プールでの痙攣が1件で、学生7名、学外1名であった。また、夜間開室時間帯の利用者数は130名で、2014年度とほぼ同様の件数であった。

②相模原キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2016年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	3999	253	0	0	0	439	0	0	0	0	0	1	4692
外部受診者数	8	4	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	17
保険診療者数	1	3	0	2	0	2	0	1	1	1	2	3	16
証明書発行者数	0	2	2	1	3	1	0	1	1	0	0	1	12
救急処置・検査等	322	121	127	84	24	60	115	169	100	89	52	32	1295
自動血圧計	14	15	11	5	5	8	4	15	16	20	24	62	199
体脂肪計	0	6	0	1	2	1	1	1	0	1	3	4	20
合 計	4344	404	140	93	34	511	122	188	119	111	82	103	6251

2) 精神衛生相談者数 (精神科医)

(2016年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人 数	1	3	3	3	1	4	2	0	1	0	0	0	18

3) 教職員有疾病・有所見者管理者呼出し対象者数

(2016年3月31日現在)

実施月	教 職 員	
	対象者数	来室者数
2015年11月	34	21
2016年 1月	5	3
2016年 3月	5	4

(上記人数は実人数である)

呼出し対象者結果 (のべ人数)

呼出し対象 検査項目	実 施 月	教職員		再検査、医師面接等の結果			未来室
		対象者数	来室者数	異常なし	経過観察	治療中 病院受診奨励	
血液検査	2015年11月	6	3	1	0	2	3
	2016年1月	2	0	0	0	0	2
	2016年3月	5	4	0	1	3	1
尿検査	2015年11月	1	1	1	0	0	0
便潜血反応検査	2015年11月	9	8	0	3	5	1
	2016年1月	1	1	0	0	1	0
血圧	2015年11月	6	3	0	0	3	3
	2016年1月	3	3	0	0	3	0
胸部レントゲン	2015年11月	1	1	0	0	1	0
心電図	2015年11月	4	3	0	0	3	1
	2016年1月	1	1	0	0	1	0
診察所見 自覚症状	2015年11月	10	5	2	0	3	5

4) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2016年3月31日現在)

内訳		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
身分	学 生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	教職員・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
原因	事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾 病	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
対応	救急車依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院搬送	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2

保健管理センター全来室者数は、延べ1295名で前年度に比べ0.8%増加している。今年度1学部増設されたことに伴い教職員・学生数が増加したことが要因のひとつと考えられる。

精神衛生相談者数は18名で、前年度の13名とほぼ横ばいであった。半数以上が学生相談センターから紹介されたケースで、うち3名は精神科医がしフォローした。

教職員有疾病・有所見者管理者で呼出した人数のうち、34%が未来室であった。未来室者を減らし、有所見者が健康管理を行えるよう関わっていくことが課題である。

8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

実施日		キャンパス	行事内容	男	女	合計	内容	
2 0 1 5 年	4/1	水	青	入学式	0	8	8	気分不快(3)切傷(1)生理痛(1)その他(3)
	6/13・20	土	青	学業説明会、キャンパス見学会	3	1	4	胃腸症状(1)頭痛(1)その他(2)
	6/13	土	相	理系女子イベント	0	2	2	胃痛・吐気 (1) 頭痛 (1)
	7/4	土	相	大学院博士前期課程入試	0	1	1	その他 (1)
	7/18・26	土・日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	7/19	日	相	オープンキャンパス	0	0	0	
	8/3・4・5	月-水	青	オープンキャンパス	5	6	11	感冒(1)頭痛(1)気分不快(4)貧血(1) 外傷(2)生理痛(2)
	8/29・30	土・日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	9/11・12	金・土	相	大学院博士前期課程入試	0	0	0	
	9/12・26	土	青	推薦入試・特別入試	2	2	4	気分不快(2)外傷(1)その他(1)
	9/19	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	9/23	水	青	青山学院大学同窓祭	0	0	0	
	10/10・11	土・日	青	専門職大学院入試 推薦入試	1	1	2	気分不快(1)外傷(1)
	10/10・11	土・日	相	相模原祭	2	5	7	頭痛・腹痛 (1) 不眠 (1) 嘔気・鼻汁・頭痛 (1) 打撲 (1) 火傷 (2) 虫刺され (1)
	10/30- 11/1	金-日	青	青山祭	8	17	25	胃腸障害(2)感冒(6)気分不快(3)外傷(3) 火傷(2)その他(9)
	11/7・23	土・月	青	特別入試・推薦入試	2	2	4	感冒(1)外傷(1)その他(2)
	11/7	土	相	特別入試	0	0	0	
	11/21	土	相	推薦入試	0	0	0	
	11/28	土	青	専門職大学院入試 編入・転学部・転学科入試	1	1	2	その他 (2)
12/12	土	青	専門職大学院入試	0	0	0		
2 0 1 6 年	1/16・17	土・日	青	センター入試	0	2	2	胃腸症状(1)その他(1)
	1/16・30	土	青	専門職大学院入試	2	0	2	胃腸症状(1)その他(1)
	2/7・10・11 13・14・15 18・19・21	月-日	青	一般入試	26	24	50	感冒(8)頭痛(3)胃痛(1)腹痛(5) 生理痛(3)気分不快(5)嘔気嘔吐(11) 鼻出血(5)切傷(1)歯痛(1)その他(7)
	2/13・20	土	相	専門職大学院入試	0	0	0	
	3/5	土	相	スポーツネットワーク中学生セミナー	0	0	0	
	3/16	水	青	科目等履修生選考試験	2	2	4	感冒(1)頭痛(1)外傷(1)その他(1)
	3/26	土	青	学位授与式	2	1	3	感冒(2)切傷 (1)

9. 各種情報処理

①学生健康診断処理関係

処理月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム室処理
4月	保健データ管理画面アップデート開始	4/1～通年	
	学生健康診断検尿データアップデート処理	4/4・6～9・14～17・20	
	学生健康診断データアップデート処理	4/10	4/10
	春プリントファイル更新処理		4/10・23
	学生健康診断有所見者リスト出力処理	4/11	
	健康診断証明書ファイル作成		4/23
	健康診断結果通知呼び出し処理	4/24	
7月	春プリントファイル更新処理		7/28
	教学系システム実務担当者会 (保健管理システムプログラム改修について)	7/27	7/27
11月	学生現在症呼出しリスト出力処理	11月初旬	
12月	保健システムプログラム改修のテストリリース開始	12/2～3月	12/2～3月
3月	学生身分異動統計処理	3/21	
	学籍新年度処理 SAMSHOUB 新年度学籍情報参照開始		3/25 (3/26)
	新年度離籍分離処理	3/26	
	メモデータ離籍分離処理	3/26	
	保留データ離籍分離処理	3/26	
	学生健康診断対象者名簿作成処理	3/26	
	障害のある学生の離籍分離処理	3/28	

②教職員健康診断処理関係

処理月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
6月	人事部人事課より 教職員退職者、定期健康診断受診対象者リスト提供		6/5
	教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/8	
	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	6月(各キャンパスごと)	
9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/2
	教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/2	
10月	教職員健康診断結果アップデート処理	10月中旬	
	人間ドック結果要Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
	私学共済提出用健康診査結果処理	10月中旬～通年	
11月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	11月(各キャンパスごと)	
1月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	1月(各キャンパスごと)	
2月	人事部人事課より雇入れ時健康診断対象者リスト提供		2月～通年
	雇入れ時健康診断Accessデータ処理	2月～通年	
3月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	3月(各キャンパスごと)	
	雇入れ時健康診断結果アップデート処理	3月～通年	